



厚高インフォメーション



学校祭終了

本校では7月18日(金)、19日(土)の両日、学校祭を行いました。今年は「国」をテーマに学校を飾り付けました。

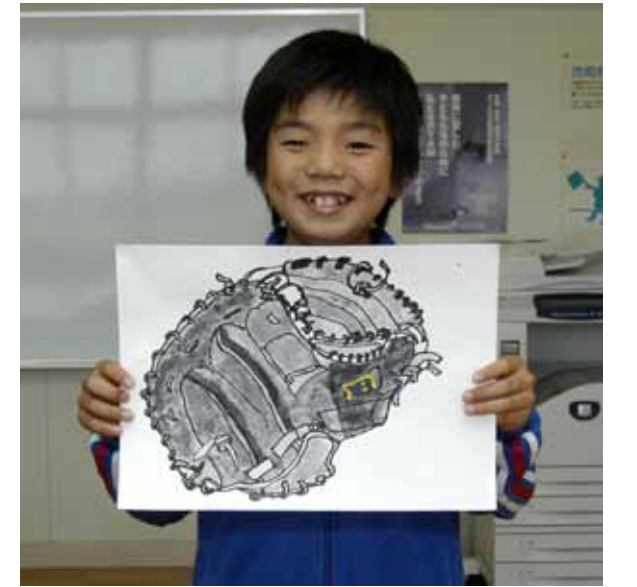
初日は、生徒会制作のビデオ上映で開幕し、生徒会執行部が企画したゲームで盛り上がり、一般公開の目玉である演劇大会を行いました。結果は3年生が優勝である金熊賞を獲得。2位の2年生も3年生に肉薄する好演技を見せ、1年生もフレッシュな演技で将来性の有望なところを印象づけました。

2日目は、各クラスと委員会の模擬店は仏・米・豪・英・伊・韓・日の各国文化が校舎の中に花開きました。生徒たちがつくった食品を楽しびに食べるお客さんの姿が多く見られ、中には、普段実習等でお邪魔しているグループホームやわらぎの方々も来校され、高校生との交流もはられました。厚高祭のラストは恒例のジンギスカン。そして、盛大な打ち上げ花火でフィナーレとなりました。

町民の方々には準備段階から廃品提供やチャリティーバザーへの物品の提供等多くのご協力いただき、学祭期間中にはたくさん来校していただきました。誠にありがとうございました。



中央小 5年 古本 上総さん (11)
「防火ポスターです！絵だけで表現するテーマだったので、人物が油断している表情を工夫したんですよ」



中央小 6年 尾形 紘平くん (12)
「グローブを描いたんだけどめっちゃむずかしかった！色の濃さを変えたり影をつけたのがポイントです」

わたしたちの作品

今月の記念日

8月7日は「バナナの日」

好きな果物や健康・美容に良い果物、毎日食べている果物に関する調査で、必ず上位にランクされるのがバナナです。そんなバナナを食べて暑い夏を元気に乗り切ってもらいたいと「日本バナナ輸入組合」が、八月七日を「バナナの日」と定めました。日付の由来は、「バ(八)ナ(七)」の語呂合わせからです。

バナナの歴史はとも古く、紀元前五千年〜一万年ごろ、偶然できた種のないバナナの苗を人間が栽培化したことが、現在のバナナの始まりといわれています。東南アジアで栽培化されたバナナは、農業技術とともに東西の熱帯地帯に伝播していきました。そして、紀元前二世紀ごろ、海を渡ってアフリカ大陸へと広がっていきました。

日本にバナナがやってきたのは明治時代。台湾航路の貨客船により、初めて輸入されました。

バナナは栄養が豊富で、健康に良い

果物です。バナナ一本のカロリーは、ご飯一杯の三分の一程度で、とても低カロリーです。それにもかかわらず、バナナにはブドウ糖、果糖、シヨ糖など多種類の糖質が含まれているため、バナナを食べるとエネルギーが持続します。また、バナナには赤ワインや緑茶に多く含まれるポリフェノールが含まれているため、生活習慣病の予防になります。さらに、バナナには免疫力を高める効果があり、ガン予防にも役立ちます。

日本バナナ輸入組合のウェブサイト『バナナ大学』では、バナナの基礎知識をはじめ、安全性に関することや各種統計データが紹介されています。また、「バナナと生ハムのサラダ」「バナナのカレー」など、簡単なレシピやバナナの上手な保存方法も紹介されているので、料理の参考にはいかがでしょうか。



*バナナ大学 <http://www.banana.co.jp/>

文芸あつま ◆短歌◆

果てしなくきらめく波の穂やかに水平線を白き船ゆく
この朝棚に小豆を見つけたら「何して食べよう」と夫に問ひたり
裸電球の下に並ぶる露天より求めて来たる水注ぎなりき

(豊沢 大垣 丈子)
(本郷 木村 洋子)
(本郷 矢部 慧子)

(あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十三号』から抜粋)

ほかの・わたしの クラスじまん

ともだちっていいな



その83 あつ ま ちゅうがっ こう 厚真中学校



紹介してくれたのは…
厚真中学校 1年A組のみなさん
(書いてくれたのは) 齊藤愛莉さん

私達のクラスは、男子16人、女子8人の元気いっぱい笑顔のたえない明るいクラスです。4月から富野小学校の4人の男子も加わりましたが、皆、仲良しです。

入学してまだ日が浅いですが、体育大会での競技「しばって走れ」では、一人ひとりの「絆」が深まり、校外学習の「登山」では、「助け合う」という事を学びました。

私達クラスの目標は「正言楽感元明」です。

「正」は、正しい学級。
「言」は、言葉づかいの正しい学級。
「楽」は、楽しい学級。
「感」は、感動する学級。
「元」は、元気が良い学級。
「明」は、明るい学級です。

2学期もこの目標に向かって皆で頑張りたいです。